

郷里・長野で

クワンクイン

日本共産党が生まれ、山本宣治や小林多喜二らが活躍した1920年代に、治安維持法による弾圧で、24歳の生涯を閉じた女性がいきました。

伊藤千代子(1905-1929)。彼女を描いた映画『わが青春つきるとも』伊藤千代子の生涯』が10日、郷里の長野県でクワンクインしました。

メガホンをとったのは『校庭に東風吹いて』(柴垣文子原作)など秀作を手掛ける社会派の桂狂三郎監督。原作は拙著『増補新版 時代の証言者 伊藤千代子』(学習の友社)。来年6月全国公開めざし、現在製作資金を募集中です。

山宣の当選に

確信持ち入党

諏訪高等女学校に進学した伊藤千代子は、才気煥発な級友・平林タイ子の『影』の人と呼ばれていました。彼女の内に秘めた才能に、同校校長の土屋文明は注目していました。

千代子は英語習得のため仙台の尚絅女学校へ向かい、そこで学生社研運動の新思潮に出会い、進学した東京女子大で社会科学研究会結成に参加。消灯後ロウソクの

光で社会科学の学習に励み、学内に仲間を増やし、そのリーダーに成長しました。

そこでペーベルの『婦人論』に触発され、両性の平等(IIジェンダー平等)を主張し、全国の女

治安維持法犠牲者・伊藤千代子

映画『わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯』製本にあたって

子学校社研の集合体「女子学連」組織化に参画します。関西からは同志社の糸田律子が参加します。

こうして迎えた1928年2月の総選挙で、非法下の共産党員候補を含む労農党を支援します。多喜二らの待つ北海道から出馬する山本縣蔵候補に資金を援助し、郷里諏訪の藤森成吉候補を応援。京都で山本宣治らが当選し、確信持った千代子は2月末、日本共産党に率先して入党、男性中心のわが国の共産主義運動に参加した最初の女性(の一人として、中央事務局員の任務につき日夜分かれた活動を開始します)。

その直後の3月15日、前夜から党の政治方針のガリ切り(II製版)をして印刷所へ向かい、全国一斉弾圧で待ち構えていた

治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟顧問



藤田 廣登



○●●●□○○○○◎○○○○□○○○○◎○○○○
□○○○○◎

特高警察に検挙され、東京・滝野川署に連行されましたが、重要文書を破壊し、激しい拷問を受けながらも偽名で通し、自供を拒みました。

獄中でも節曲 げず同志激励

ついで市谷刑務所の病舎兼用の独房に収監され、拷問から立ち直り、差し入れの『資本論』を学習。同志との連絡を保ち、激励を欠かさず、獄中での一斉行動を展開しました。

思想検事の取り調べに対して、千代子は科学的社会主義の理論学習と実践を通じて、人々の幸せのために共産党に入党したことや、「27年テーゼ」を指針に社会に働きかけ、天皇絶対の専制支配構造をなくして資本主義社会から社会主義社会へ

と変えられる、との主張を堂々と披歴します。ところが、節を曲げず迎えた1年後の29年5月頃、思想検事の誘導で男性房党員の指導部の中に絶対主義的天皇制支配を是認し、共産党組織の解体を主張するグループが生まれます。検事は彼らに転向の「上申書」を書かせ、違法に房内に広げます。

女性房では千代子を中心に変節グループの方針に反対しました。同じ刑務所の夫・浅野晃も検事の誘導で変節。検事はその転向「上申書」を千代子に読ませて変節を迫りました。

千代子は、獄舎で、大地をほうように広がる雑草・ツシバリの花を見て「命あるものはみんなあらん限り生きようとするのですね。生きようとするからこそその命をも投げ出すのですね」と、節を曲げず生き抜く決意を手紙にしたためます。

刑務所側は、組織の指導部と最愛の夫の変節への怒りと懊悩が亢進する千代子を治療せず放置。容態悪化を受けて特高警察監視下の松澤病院に収容しました。千代子は回復期にありながら肺炎を併発し、9月24日、誰にも看取られず24歳の生涯を終えました。

山本宣治らの呼びかけで治安維持法下の弾圧犠牲者救援のため設立28年(された「解放運動犠牲者救援会(現・国民救援会)」は、闘いを以て記念された伊藤千代子」と題する抗議声明を発してその鮮烈な闘いと若い死を悼み、共産党の指導者・渡辺政之輔、労農党代議士・山本宣治とともに歴史に名を刻みました。

戦前、千代子の葬儀は弾圧で許されなかったため、48年3月18日、青山墓地の無名戦士の墓に、山宣、多喜二らとともに合葬され、97年には、郷里諏訪の墓地霊園に顕彰碑が建立されました。

今、自己責任論にさいなまれる青年が多くいるなかで、千代子の生き様に触れ、働きかければ、誰もが生きやすい社会に変えられる可能性があることを知ってもらえればと思います。高校生や青年にも観てもらえる作品になります。

論壇・オピニオン